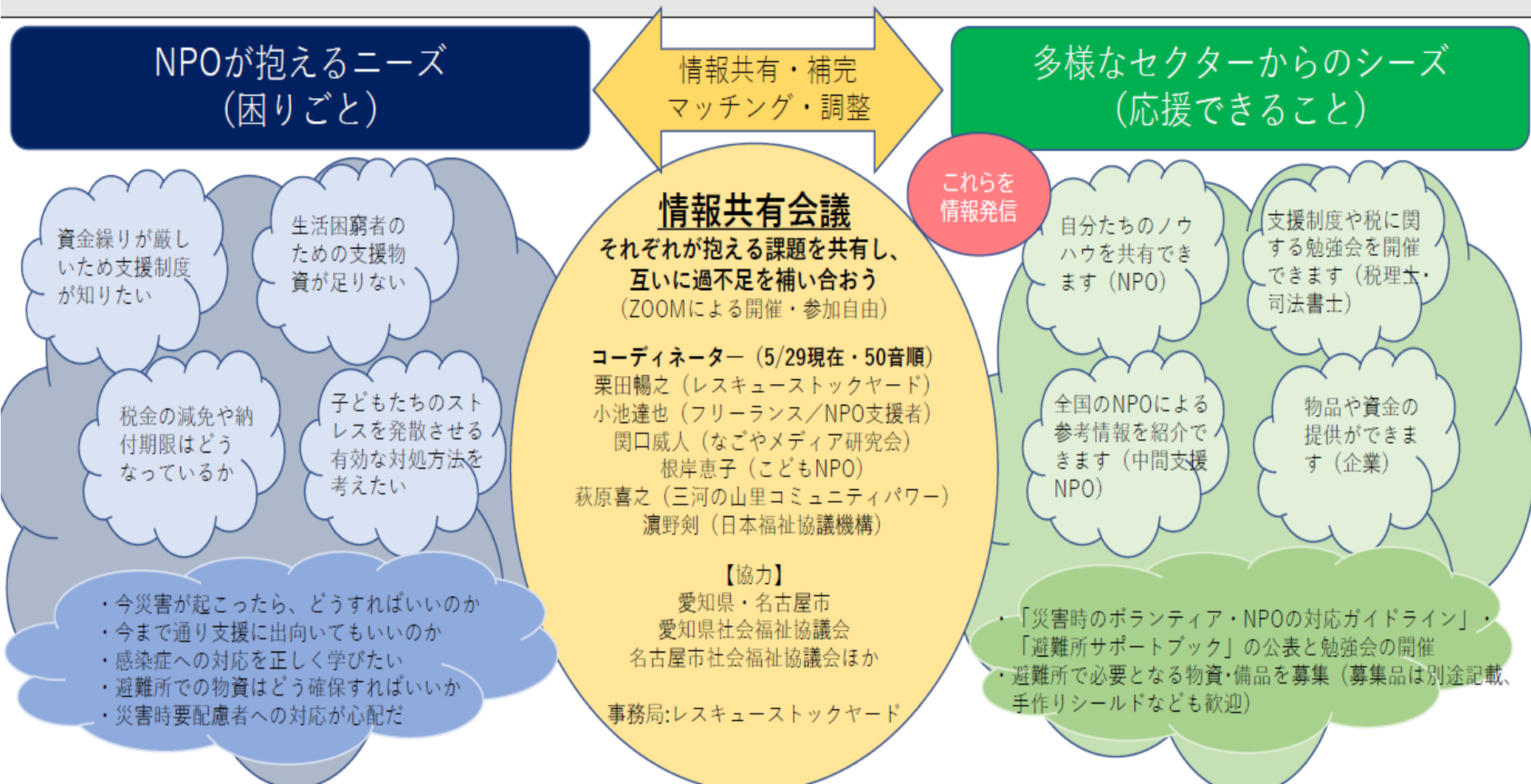


コロナ禍対応「NPOおたがいさま会議」の開催について

活動の2本柱

- ① コロナ禍によるNPOの困りごとに対する情報共有と可能な限り互いに補完し合う機能
- ② コロナ禍の影響下において、災害が発生した場合の事前準備機能（※特に「避難所対応」は喫緊課題として）



NPOおたがいさま会議・3週の議論を通じて
～0605コア会議での協議より

学んだこと・課題

- コロナ禍により、生活困窮者、子ども、女性、外国人などの社会的弱者の個々の課題を見えにくくし、さらに追い詰めている。
- 現在の国等からの支援制度だけでは十分対応できるとは言い難く、また施設等を閉じたことで「住」の課題が深刻化している。
- NPOはボランティア活動を止めざるを得ない状況にあり、いつからどんな点に留意して活動を進めればいいのか迷っている。
- 第2波を見据え、長期的な「withコロナ」への対応が必要である。
- NPOおたがいさま会議で達成したい目標を明確化すべきである。

今後のこと・当面の目標

- ① もっと現場の声を聴く機能の強化（聴きに行くことも大切）→声を届けてください
- ② 集まった声をまとめ「見える化」する機能（事務局を強化させます）
- ③ それらの声に対して応援・支援するマッチング機能→小さな実績を積み重ねていきましょう。
- ④ さらなる課題解決に向けたアドボカシー的機能（愛知県・名古屋市からも当該各部局にさらにお伝えいただきます）
- ⑤ それらを実現するための事務局機能の強化（人材・財源確保）と役割分担→コーディネータへの参画や人・資金のご協力を！